



Sun StorEdge™ Enterprise Storage Manager 1.2 ご使用にあたって

(ロケールのインストール情報を含む)

Sun Microsystems, Inc.
4150 Network Circle
Santa Clara, CA 95054 U.S.A.
650-960-1300

Part No. 817-2533-10
2003 年 4 月 Revision A

この文書に関するご意見は、次の電子メールアドレス宛てにお送りください。
docfeedback@sun.com

Copyright 2003 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

Sun Microsystems, Inc. は、本書で説明する製品に取り入れられた技術に関連する知的所有権を有します。具体的には、これらの知的所有権には <http://www.sun.com/patents> に記載の 1 つまたは複数の米国特許、ならびに米国および他の国における 1 つまたは複数のその他の特許もしくは係属中の特許が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

本製品およびそれに関連する文書は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および関連する文書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

フォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

Sun、Sun Microsystems、Sun のロゴ、Sun StorEdge、AnswerBook2、Java、docs.sun.com、および Solaris は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) の商標、または登録商標です。

すべての SPARC 商標は、SPARC International, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、弊社が使用許諾を受けて使用しているものです。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャに基づくものです。

OPEN LOOK および SunTM Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。Sun は、コンピュータ業界においていち早くビジュアルまたはグラフィカルユーザーインターフェースの概念を研究および開発してきた Xerox の功績を高く評価しています。Sun は、Xerox から Xerox Graphical User Interface の非独占的使用許諾を受けており、当該使用許諾では、OPEN LOOK GUI を実装し、Sun の書面による使用許諾条件を遵守する立場になる Sun の許諾者も、Xerox Graphical User Interface を使用する権利が与えられています。

米国政府機関ユーザーの権利—商用使用。米国政府関連者関連の方は、Sun Microsystems, Inc. 標準ライセンスへの同意と FAR およびその付録の適用可能な規定に従う必要があります。

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われえないものとします。



Adobe PostScript

目次

システム要件 2

Sun StorEdge 6320 ストレージシステムを使用した SAN 構成に推奨される
パッチ 5

既知の問題とバグ 6

既知の問題 6

esminstall スクリプトを使用した Sun StorEdge Enterprise Storage Manager
ソフトウェアのインストール 7

SLP スコープのエージェントステーションが同じロケールを使用しているこ
との確認 7

JNI ホストバスアダプタの使用 8

マルチキャスト機能を無効にしたネットワーク 8

セキュリティ 8

ホスト上に Sun StorEdge Component Manager ソフトウェアがインストール
されている場合 9

考えられるポートのコンフリクト 10

Web ブラウザに必要とされるスイッチソフトウェア向けの正しい Java Plug-
in アプリケーション 11

スイッチポートのコネクタの移動 11

マニュアルの誤り 12

既知のバグ 14

バグ 4842420 Sun StorEdge Diagnostic Expert のテスト結果の表にある英文テ
キストがローカライズされていない 15

バグ 4841921 Sun StorEdge Diagnostic Expert のローカライズされたオンラインヘルプでのトポロジ詳細およびトポロジゾーントピックの表示 15

バグ 4845512 フランス語ロケールを使用するマシン上で Diagnostic Expert サーバーソフトウェアを起動すると、メッセージやその他のテキストが簡体字中国語、または日本語で表示されない 16

バグ 4845684 フランス語ロケールを使用するマシン上で Diagnostic Expert サーバーソフトウェアを起動した場合に、コンポーネントの表示で内部エラーが生成される 16

バグ 4845789 フランス語 (fr) ロケールでオンラインヘルプの左側の目次フレームにある最後の 2 つのリンクをクリックすると、誤ったフレームに内容が表示される 17

バグ 4845851 esminstall と esmuninstall スクリプトでは、ロケールのローカライズ済み (L10N) パッケージのみのインストール、またはアンインストールができない 18

バグ 4846968 保存されている診断ページのナビゲーションボタンが機能しない 18

バグ 4847208 Web ブラウザが繁体字中国語 (zh_TW) ロケールで文字を正しく表示しない 19

バグ 4847933 /etc/default/init ファイルのデフォルトのロケールが fr_FR.ISO8859-1 に設定されているときに、Telnet または ssh CLI セッション内でマニュアルページを表示できない 19

ローカライズ済みソフトウェアのインストール 20

はじめに 21

インストール可能なロケール数 21

ソフトウェアの削除に関する情報 21

スーパーユーザー環境またはプロファイルのエイリアスの削除 22

インストールスクリプトのメインメニュー 23

▼ ローカライズ済みソフトウェアをインストールするには 25

▼ 各ステーションで Topology Reporter と SLP ソフトウェアを起動するには 27

ロケールパッケージのインストール後に、別のロケールまたは複数のロケールをインストール 28

▼ 別のローカライズソフトウェアパッケージ (Topology Reporter ソフトウェア) をインストールするには 29

▼ 別のまたは複数のローカライズソフトウェアパッケージ (Diagnostic Expert ソフトウェア) をインストールするには 30

▼ 別のまたは複数のローカライズソフトウェアパッケージ (Configuration Service ソフトウェア) をインストールするには 31

esminstall と esmuninstall スクリプトのオプション 32

ローカライズ済みソフトウェアの問題 35

電子メールおよびページ通知サービス 35

SNMP 通知 36

Netscape Navigator の簡体字中国語バージョンの言語選択 36

マニュアルページ 37

▼ シェルの環境を更新して日本語のマニュアルページを表示するには 37

関連マニュアル 38

サービスのお問い合わせ情報 39

リリースノート

『Sun StorEdge Enterprise Storage Manager 1.2 ご使用にあたって』では、本ソフトウェアについて後から明らかになった重要な情報について説明します。これには、ロケールのインストール指示が含まれます。

次のトピックについて説明します。

- [2 ページの「システム要件」](#)
- [6 ページの「既知の問題とバグ」](#)
- [20 ページの「ローカライズ済みソフトウェアのインストール」](#)
- [35 ページの「ローカライズ済みソフトウェアの問題」](#)
- [38 ページの「関連マニュアル」](#)
- [39 ページの「サービスのお問い合わせ情報」](#)

関連製品の次のリリースノートも参照してください。

- 『*Sun StorEdge Enterprise Storage Manager 1.2 Topology Reporter* ご使用にあたって』
- 『*Sun StorEdge Configuration Service 1.2* ご使用にあたって』
- 『*Sun StorEdge Diagnostic Expert 1.2* ご使用にあたって』
- 『*Storage Automated Diagnostic Environment 2.2 System Edition* ご使用にあたって』
- 『*Storage Automated Diagnostic Environment 2.2 Device Edition* ご使用にあたって』

システム要件

このソフトウェアパッケージには、最新のネットワーク、スイッチ、およびホストバスアダプタのソフトウェアパッケージとアップデートが必要です。これらのパッケージとアップデートは、以下から入手できます。

<http://www.sun.com/storage/san>

パッチは、以下から入手できます。

<http://sunsolve.sun.com/>

表 1 には、Topology Reporter、Configuration Service、および Diagnostic Expert ソフトウェアに必要なソフトウェアオペレーティング環境と SAN ソフトウェアを示します。

表 2 には、サポートされている、必要なハードウェアを示します。

表 1 必要なオペレーティング環境と SAN ソフトウェア

必要な SAN ソフトウェア	Sun StorEdge Enterprise Storage Manager 1.2 ソフトウェアを使用するには、Sun SAN Foundation ソフトウェアのバージョン 4.2 をインストールしている必要があります。SUNWsan ソフトウェア、関連ソフトウェア、およびアップデートは、以下から入手できます。 http://www.sun.com/storage/san パッチは、以下から入手できます。 http://sunsolve.sun.com/
必要なオペレーティング環境	Javaa 2 SDK v1.4.0 用のパッチを含む最新のパッチクラスタ付き Solaris 8 10/01 (Update 6 とも言う) は、以下から入手できます。 http://java.sun.com/j2se/1.4/install-solaris-patches.html
	Solaris 9

表 1 必要なオペレーティング環境と SAN ソフトウェア

パッチ	<p>次のパッチによる修正は、Sun StorEdge Enterprise Storage Manager 1.2 ソフトウェアの L10N バージョンでは対応済みです。このパッチは、英語版の製品 CD からソフトウェアをインストールした場合に使用してください。</p> <p>パッチ番号 114616-xx (xx は最新のパッチバージョンレベルを示す) 5 ページの「Sun StorEdge 6320 ストレージシステムを使用した SAN 構成に推奨されるパッチ」 も参照してください。</p> <p>パッチは、以下から入手できます。 http://sunsolve.sun.com/</p>
必要な Web ブラウザ (最低バージョン)	<p>Netscape Navigator バージョン 4.79</p> <p>Microsoft Internet Explorer バージョン 5.0</p>

表 2 サポートされている必要なハードウェア

CD-ROM 要件	ソフトウェアをインストールするホストマシンに接続されている、CD-ROM ドライブ。
サポートされているホストマシン	<p>このソフトウェアは、Soloaris オペレーティング環境を搭載しているホストマシンで実行されます。ホストには以下のものがありますが、これらに制限されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Sun Enterprise™ サーバーモデル 220R、250、420R、450 • Sun Enterprise サーバーモデル 3500、4500、5500、6500 • Sun Firea サーバーモデル 280R、3800、4800、および 6800 <p>管理ステーションには、上記リストのホストのほかに、次のワークステーションも使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Sun Ultra ワークステーションモデル 5、10、60、および 80
サポートされるストレージ	<p>Sun StorEdge T3 アレイ、最低ファームウェアバージョン 1.17¹</p> <p>Sun StorEdge T3+ アレイ、最低ファームウェアバージョン 2.0¹</p> <p>Sun StorEdge 3510 FC アレイ</p> <p>Sun StorEdge 3900 および 6900 ストレージサブシステム</p> <p>Sun StorEdge 6120 シリーズアレイ ¹</p> <p>Sun StorEdge 6320 シリーズシステム ¹</p> <p>Sun StorEdge 9900 シリーズシステム</p> <p>(Sun StorEdge 9910 および Sun StorEdge 9960 システムアレイを含む)</p>
<p>1. Configuration Service ソフトウェアは、これらのストレージアレイ、またはサブシステムをサポートします。</p>	

表 2 サポートされている必要なハードウェア (続き)

サポートされる スイッチ	Sun StorEdge Network FC Switch-8 および Switch-16 Brocade Communications Systems SAN スイッチ McDATA Corp. の毎秒 2G ビットの 16、32、および 64 ポート SAN スイッチ
ディスクおよびメモリ空間要件の合計	すべてのパッケージについて、/opt ディレクトリに合計 1G バイトのディスクス ペース 最低 512M バイトのシステムメモリ
Topology Reporter のディスクおよびメモリ空間要件	管理ステーションのインストールと実行では、次の容量を必要とします。 <ul style="list-style-type: none">• 640M バイトのディスクスペース• 最低 512M バイトのシステムメモリ エージェントステーションのインストールと実行では、次の容量を必要とします。 <ul style="list-style-type: none">• 71M バイトのディスクスペース• 512M バイトのシステムメモリ 管理ステーションとエージェントステーションが同じマシンの場合は、次のとおり です。 <ul style="list-style-type: none">• 711M バイトのディスクスペース• 最低 512M バイトのシステムメモリ
Configuration Service のディスクおよびメモリ空間要件の合計	200M バイトのディスクスペース
Diagnostic Expert のディスクおよびメモリ空間要件の合計	/opt ディレクトリ (デフォルトのインストールディレクトリ) に 60M バイトのディ スクスペース /var/opt ディレクトリ (デフォルトのインストールディレクトリ) に 30M バイト のディスクスペース 128M バイトのシステムメモリ

Sun StorEdge 6320 ストレージシステムを使用した SAN 構成に推奨されるパッチ

注 - 114616-xx パッチによる修正は、Sun StorEdge Enterprise Storage Manager 1.2 ソフトウェアの L10N バージョンでは対応済みです。このパッチは、英語版の製品 CD からソフトウェアをインストールした場合に使用してください。 -

Sun StorEdge 6320 ストレージシステムの管理にソフトウェアを使用する場合は、パッチ番号 114616-xx をインストールしてください。(xx は、最新のパッチバージョンレベルを示します。)

パッチは、以下から入手できます。

<http://sunsolve.sun.com/>

既知の問題とバグ

次に、既知の問題とソフトウェアのバグについて説明します。

- [6 ページの「既知の問題」](#)
- [14 ページの「既知のバグ」](#)

既知の問題

ここでは、次の既知の問題について説明します。[35 ページの「ローカライズ済みソフトウェアの問題」](#) も参照してください。

- [7 ページの「esminstall スクリプトを使用した Sun StorEdge Enterprise Storage Manager ソフトウェアのインストール」](#)
- [7 ページの「SLP スコープのエージェントステーションが同じロケールを使用していることの確認」](#)
- [8 ページの「JNI ホストバスアダプタの使用」](#)
- [8 ページの「マルチキャスト機能を無効にしたネットワーク」](#)
- [8 ページの「セキュリティ」](#)
- [9 ページの「ホスト上に Sun StorEdge Component Manager ソフトウェアがインストールされている場合」](#)
- [10 ページの「考えられるポートのコンフリクト」](#)
- [11 ページの「Web ブラウザに必要とされるスイッチソフトウェア向けの正しい Java Plug-in アプリケーション」](#)
- [11 ページの「スイッチポートのコネクタの移動」](#)
- [12 ページの「マニュアルの誤り」](#)

esminstall スクリプトを使用した Sun StorEdge Enterprise Storage Manager ソフトウェアのインストール

Sun StorEdge Enterprise Storage Manager ソフトウェアの各コンポーネント (Topology Reporter、Configuration Service、および Diagnostic Expert) に関するマニュアルには、インストールスクリプトの `install` への参照や、`pkgadd(1M)` コマンドによるソフトウェアのインストール手順が記載されている場合があります。

これらの手順は、ソフトウェアのインストール時には使用しないでください。『Sun StorEdge Enterprise Storage Manager 1.2 インストールガイド』に記載のとおり、Sun StorEdge Enterprise Storage Manager 1.2 製品 CD に格納されている `esminstall` スクリプトを使用してください。

SLP スコープのエージェントステーションが同じロケールを使用していることの確認

管理ステーションとエージェントステーションは、各マシンのスコープ設定とロケールが同じ場合、同じ SLP スコープ内にあると考えられます。『Sun StorEdge Enterprise Storage Manager 1.2 インストールガイド』に、Topology Reporter ソフトウェアに対して SLP スコープとルールを設定する方法が記載されています。

- 管理ステーションと各エージェントステーションが同じロケールで構成されていることを確認します。各ステーションのタイプが同じロケールで構成されている場合のみ、ソフトウェアでデバイスを検出できます。
- 同じファブリックに接続されているすべてのエージェントステーションが、同じスコープ設定で構成されていることを確認します。(ここでファブリックとは、すべてのファブリックメンバー [ホスト、ホストバスアダプタ、その他のスイッチ、ストレージデバイス] 間を物理的に接続するインターコネクトスイッチと定義されます。つまり、SAN は複数のファブリックで構成されていることになります。)
- このファブリックの管理ステーションが、各エージェントステーションと同じスコープ設定であることを確認します。同じ設定であれば、各エージェントステーションはファブリック内の管理ステーションに情報をレポートします。

JNI ホストバスアダプタの使用

ストレージネットワーク構成で JNI ホストバスアダプタカードを使用している場合、カードの Solaris オペレーティング環境向け JNIsnia パッケージが最新バージョンであることを確認します。このパッケージは、次の URL から入手できます。

<http://www.jni.com>

また、JNI HBA カードのドライバが現行バージョンであることを確認します。Topology Reporter ソフトウェアを使用している場合、最新のパッケージとドライバが必要になります。

マルチキャスト機能を無効にしたネットワーク

管理ステーションとエージェントホストが別々のネットワークセグメントに配置されていて、これらのセグメント間をマルチキャストネットワークトラフィックが通過できない場合 (つまり、ネットワーク上でマルチキャストが無効である場合)、Sun StorEdge Enterprise Storage Manager ソフトウェアが、構成ネットワークセグメント内のホストに配置されているエージェントを検出できない場合があります。

セキュリティ

注 - ここで説明するセキュリティの問題は、Remote Method Invocation (RMI) レジストリを使用したことによるものです。Sun StorEdge Enterprise Storage Manager 1.2 ソフトウェアに固有のものではありません。

ミドル層のルックアップサービスを登録するために Sun StorEdge Enterprise Storage Manager 1.2 ソフトウェアで使用する RMI レジストリは、保護されていません。この状況は、悪意のあるユーザーが、ソフトウェアへの攻撃の開始ポイントとして RMI レジストリを使用し、攻撃を実行できることを意味します。可能性のある攻撃には、以下のものがありますが、これらに制限されません。

- DoS (Denial of Service) - RMI レジストリからサービスプロキシを削除して実行される。攻撃は、管理ステーションソフトウェアをホストするマシンから実行できる。
- 情報の取得 - RMI レジストリのサービスプロキシに取って代わることによって実行される。攻撃は、管理ステーションソフトウェアをホストするマシンから実行できる。
- サービスへの権限のないアクセス - RMI レジストリからサービスプロキシを取得して実行される。攻撃は、リモートホストから実行できる。

ホスト上に Sun StorEdge Component Manager ソフトウェアがインストールされている場合

Sun StorEdge Component Manager ソフトウェアが、管理ステーションとして選択したホスト上にすでにインストールされている場合 (管理ステーションとエージェントステーションが同じマシンである構成を含む)、Topology Reporter ソフトウェアには、別の Web サーバーポート番号を選択する必要があります。

Component Manager のデフォルトのセキュリティなし Web サーバーポートは、8180 です。8180 ポートは、Topology Reporter のセキュリティなし (非 SSL) サーバーのデフォルトでもあります。Topology Reporter ソフトウェアのセキュリティなし Tomcat Web サーバーポートが、Component Manager の Web サーバーポートとは異なることを確認します。

インストール済みの Component Manager のセキュリティなし Web サーバーポートが 8180 の場合、Topology Reporter ソフトウェアに対する /opt/SUNWstm/bin/esmconfig 構成スクリプトプロンプトに、次のように応答します。ユーザーの応答は、太字で示し、この例のポート選択は 8280 です。

```
Run Tomcat non-SSL server on port 8180 [y,n,?] n

Please enter the Tomcat non-SSL server port: 8280

Run Tomcat SSL server on port 8543 [y,n,?] y

Do you want to use the SLP scope nsmscope [y,n,?] y

Configuration successful.
End: TR configuration.
```

[10 ページの「考えられるポートのコンフリクト」](#) および表 3 も参照してください。

『Sun StorEdge Enterprise Storage Manager 1.2 Software インストールガイド』には、インストールと構成手順が詳しく説明されています。

考えられるポートのコンフリクト

一般に、Web サーバー、telnet、およびその他のポートには、
/opt/SUNWstm/bin/esmconfig 構成スクリプトによるプロンプトが表示される
際、デフォルト値を使用できます。デフォルトのポート番号が、インストールしてい
る他のソフトウェアとコンフリクトしていないことを確認します。

表 3 に、Sun StorEdge Enterprise Storage Manager 1.2 製品 CD にある、Topology
Reporter、Configuration Service、および Diagnostic Expert ソフトウェアのデフォル
トのポートを示します。

表 3 Sun StorEdge ESM 1.2 ソフトウェアのデフォルトのポート

Sun StorEdge ESM 1.2 ソフトウェア	非 SSL (Secure Socket Layer) ポート	SSL ポート	Apache HTTP サーバー ポート	Postgres SQL ポート	その他のデフォルトの ポート
Topology Reporter	8180	8543	1024	5437	非適用
Configuration Service	8080	9443	1024	非適用	CLI telnet ポート - 8023 ssh プロキシ - 8514 Sun StorEdge 9900 シリーズソフト ウェア - 2001 Solaris CIM/WBEM ポート - 8181
Diagnostic Expert	8088	8443	非適用	非適用	非適用

Web ブラウザに必要とされるスイッチソフトウェア向けの正しい Java Plug-in アプリケーション

Topology Reporter ソフトウェアから Web ブラウザで Brocade Communications Systems WebTools スイッチソフトウェアを起動するには、Javaa Web ブラウザの正しいプラグインソフトウェアがインストールされている必要があります。たとえば、Netscape Communicator の Web ブラウザは、空白のブラウザページを表示する場合や、次のようなエラーメッセージを発行する場合があります。

This page contains information of a type (application/x-java-applet; version=1.2.2) that can only be viewed with the appropriate Plug-in. Click OK to download Plugin.

Web ブラウザの構成要件の詳細は、Brocade Communications System スイッチおよび Web ブラウザのマニュアルを参照してください。

スイッチポートのコネクタの移動

ご使用の環境に QLlogic スイッチが含まれており、コネクタを別のスイッチポートに移動した場合、コネクタのタイプ情報は、Topology Reporter データベースには反映されません。つまり、コネクタのタイプ情報は、Topology Reporter の Web ブラウザインタフェース、またはコマンド行出力で更新されないため、別のポートに移動したことは表示されません。

- 正しい情報を表示するには、コネクタを移動してからスイッチを再起動します。

スイッチポート情報を表示するには、[資産] ページ、または sstr コマンド行インタフェースを使用します。

マニュアルの誤り

■ 『Sun StorEdge Enterprise Storage Manager 1.2 Topology Reporter 管理運用ガイド』

1. 第4章の「Sun StorEdge T3 アレイアプリケーションの指定」および「Sun StorEdge 6000 ファミリアアプリケーションの指定」で、Sun StorEdge Configuration Service ソフトウェアの選択の *app-name* が、SCCS となっています。

正しくは、*app-name* は SSCS です。

2. 第3章の「Sun Management Center メインコンソールからソフトウェアを起動するには」の本文と参照図では、Sun Management Center メインコンソールの [Browser] タブにある [Remote Systems] リンクから Topology Reporter の管理ステーションとエージェントステーションのステータスが表示されるように説明されています。

ほとんどのインストールでは、Topology Reporter の管理ステーションとエージェントステーションのステータスは、Sun Management Center の [Browser] タブにある [Local Applications] フォルダの下に表示されます。

■ 『Sun StorEdge Enterprise Storage Manager 1.2 インストールガイド』

1. 第1章で「サポートされる必須のハードウェア」の表に、メモリ空間要件の合計が 256M バイトと記載されています。正しいメモリ空間要件については、表 2 を参照してください。
2. 第2章の「esminstall および esmuninstall スクリプトオプション」で箇条書きの2番目の項目に、esmuninstall スクリプトは /var/opt/SUNWstem/ ディレクトリにあると記載されています。

ソフトウェアのインストール後、esmuninstall スクリプトは、
/opt/SUNWstm/bin/ ディレクトリに置かれます。

3. 第2章の「Sun Management Center との統合」および「Topology Reporter ソフトウェアを起動する前に」に、次のような説明があります。

「Sun Management Center SUNWesagt パッケージを各エージェントステーションにインストールして起動します。」

正しくは、次のとおりです。

「Sun Management Center エージェントソフトウェア (SUNWesagt パッケージを含む) を各エージェントステーションにインストールして起動します。」

4. 第2章の「Sun Management Center メインコンソールからソフトウェアを起動するには」の本文と参照図では、Sun Management Center メインコンソールの [Browser] タブにある [Remote Systems] リンクから Topology Reporter の管理ステーションとエージェントステーションのステータスが表示されるように説明されています。

ほとんどのインストールでは、Topology Reporter の管理ステーションとエージェントステーションのステータスは、Sun Management Center の [Browser] タブにある [Local Applications] フォルダの下に表示されます。

■ 『Sun StorEdge Diagnostic Expert 1.2 ソフトウェアユーザーズガイド』

このマニュアルでは、pkgadd(1M) コマンドによる Sun StorEdge Diagnostic Expert 1.2 ソフトウェアのインストール方法について説明していますが、このコマンドは使用しないでください。

『Sun StorEdge Enterprise Storage Manager 1.2 インストールガイド』に記載のとおり、Sun StorEdge Enterprise Storage Manager 1.2 製品 CD に格納されている esminstall スクリプトを使用してください。

ソフトウェアのインストールと構成についての詳細は、『Sun StorEdge Enterprise Manager 1.2 インストールガイド』を参照してください。

既知のバグ

ここでは、次の既知のバグ、および適用できる場合はその暫定処置について説明します。

- 15 ページの「バグ 4842420 Sun StorEdge Diagnostic Expert のテスト結果の表にある英文テキストがローカライズされていない」
- 15 ページの「バグ 4841921 Sun StorEdge Diagnostic Expert のローカライズされたオンラインヘルプでのトポロジ詳細およびトポロジゾーントピックの表示」
- 16 ページの「バグ 4845512 フランス語ロケールを使用するマシン上で Diagnostic Expert サーバーソフトウェアを起動すると、メッセージやその他のテキストが簡体字中国語、または日本語で表示されない」
- 16 ページの「バグ 4845684 フランス語ロケールを使用するマシン上で Diagnostic Expert サーバーソフトウェアを起動した場合に、コンポーネントの表示で内部エラーが生成される」
- 17 ページの「バグ 4845789 フランス語 (fr) ロケールでオンラインヘルプの左側の目次フレームにある最後の 2 つのリンクをクリックすると、誤ったフレームに内容が表示される」
- 18 ページの「バグ 4845851 esminstall と esmuninstall スクリプトでは、ロケールのローカライズ済み (L10N) パッケージのみのインストール、またはアンインストールができない」
- 18 ページの「バグ 4846968 保存されている診断ページのナビゲーションボタンが機能しない」
- 19 ページの「バグ 4847208 Web ブラウザが繁体字中国語 (zh_TW) ロケールで文字を正しく表示しない」
- 19 ページの「バグ 4847933 /etc/default/init ファイルのデフォルトのロケールが fr_FR.ISO8859-1 に設定されているときに、Telnet または ssh CLI セッション内でマニュアルページを表示できない」

バグ 4842420 Sun StorEdge Diagnostic Expert のテスト結果の表にある英文テキストがローカライズされていない

テスト結果の表にあるメッセージ ([資産] タブ > [スイッチ] > [Diagnostics feature] で表示) は、英語以外のロケールでは表示できません。特定のスイッチの診断テストメッセージは、サードパーティまたは内蔵されているデバイステスト (Brocade Communications System デバイスなど) によって作成されるため、ローカライズされません。

暫定処置

ありません。

バグ 4841921 Sun StorEdge Diagnostic Expert のローカライズされたオンラインヘルプでのトポロジ詳細およびトポロジゾーンピックの表示

1. Sun StorEdge Diagnostic Expert オンラインヘルプの英語版には、トポロジビューの詳細に関する情報が含まれます。ただし、この情報は、他のロケールのオンラインヘルプには含まれていません。
2. Sun StorEdge Diagnostic Expert オンラインヘルプのローカライズ版には、トポロジゾーン情報に関する情報が含まれます。トポロジゾーン機能は、Sun StorEdge Diagnostic Expert ソフトウェアのバージョン 1.2 にはありません。ヘルプの英語版には、この情報は含まれていません。

暫定処置

トポロジの表示については、『Sun StorEdge Diagnostic Expert 1.2 ソフトウェアユーザーズガイド』を参照してください。トポロジゾーンピックに関する情報は、無視してください。

バグ 4845512 フランス語ロケールを使用するマシン上で Diagnostic Expert サーバーソフトウェアを起動すると、メッセージやその他のテキストが簡体字中国語、または日本語で表示されない

Sun StorEdge Diagnostic Export 1.2 ソフトウェアを次のような状況で使用すると、メッセージやその他のテキストが疑問符 (??) などの不適切な表示になることがあります。

1. フランス語など英語以外のロケールを使用するマシンでソフトウェアを起動する
2. このソフトウェアに別のロケール (簡体字中国語、または日本語) が設定された Web ブラウザでアクセスする

暫定処置

Sun StorEdge Diagnostic Export 1.2 ソフトウェアは、英語 (大文字の C) ロケールのほかに、簡体字中国語 (zh)、フランス語 (fr)、および日本語 (ja) をサポートします。

さまざまなロケールを使用する Web ブラウザでの同時アクセスをサポートするには、Sun StorEdge Diagnostic Expert ソフトウェアを必ず C (英語) ロケールで起動します。必要であれば、次の例に示すようにサーバーをいったん停止して再起動させることができます。

```
# /etc/init.d/init.ssde stop
# /usr/bin/env LC_ALL=C LANG=C /etc/init.d/init.ssde start
```

バグ 4845684 フランス語ロケールを使用するマシン上で Diagnostic Expert サーバーソフトウェアを起動した場合に、コンポーネントの表示で内部エラーが生成される

Sun StorEdge Diagnostic Expert 1.2 ソフトウェアの使用時にデバイスのコンポーネント ID を選択すると、次のようなエラーメッセージが表示されることがあります。

Internal Error

This device is not under monitoring now. The probable cause is that somebody has removed it.

暫定処置

16 ページの「バグ 4845512 フランス語ロケールを使用するマシン上で Diagnostic Expert サーバーソフトウェアを起動すると、メッセージやその他のテキストが簡体字中国語、または日本語で表示されない」の説明にある暫定処置を参照してください。

バグ 4845789 フランス語 (fr) ロケールでオンラインヘルプの左側の目次フレームにある最後の 2 つのリンクをクリックすると、誤ったフレームに内容が表示される

フランス語ロケールでインストールされている Sun StorEdge Configuration Service ソフトウェアの場合、オンラインヘルプの左 (目次) フレームにある最後の 2 つのリンクをクリックすると、その内容が左フレームに表示されてしまいます。このヘルプは、本来はメイン (右) フレームに表示されるものです。2 つのリンクとは次のとおりです。

- Cannot Find LUN by Name
- To Update Sun StorEdge Array HTML Files

暫定処置

目次フレームでこれらのリンクをクリックしないでください。これらのリンクをクリックしたためにその内容が左フレームに表示される場合、ブラウザでそのページ、またはフレームをロードしなおしてヘルプを元の状態に戻してください。

オンラインヘルプの右 (メイン) フレームにこの内容を表示するには、次のいずれかのオプションを使用します。

オプション 1

1. メニューバーの [Help] をクリックしてオンラインヘルプを表示します。
2. 左フレームの最初のリンク、[Contents] をクリックします。
3. 右フレームの最後のリンク、[Troubleshooting] をクリックします。
4. 右フレームで [Cannot Find LUN by Name] をクリックします。または、スクロールバーで右フレームの一番下までスクロールダウンします。

オプション 2

1. メニューバーの [Help] をクリックしてオンラインヘルプを表示します。

2. 左フレームの [Troubleshooting] をクリックします。
3. スクロールバーを使用して、右フレームの一番下までスクロールダウンします。

バグ 4845851 esminstall と esmuninstall スクリプトでは、ロケールのローカライズ済み (L10N) パッケージのみのインストール、またはアンインストールができない

esminstall スクリプト、または esmuninstall スクリプトを使用して、1 つ以上のロケールパッケージのインストール、または削除を実行することはできません。

esmuninstall スクリプトは、インストールしているすべてのパッケージを削除します。

暫定処置

次を参照してください。

- [28 ページの「ロケールパッケージのインストール後に、別のロケールまたは複数のロケールをインストール」](#)

バグ 4846968 保存されている診断ページのナビゲーションボタンが機能しない

Web ブラウザで Sun StorEdge Diagnostic Expert ソフトウェアを使用しているときに、[Next page]、[Previous page]、および [Go] ボタンが機能しなくなります。これらのボタンは、[資産] ページに移動し、[Diagnostics] リンクのプルダウンメニューから [Archive Diagnostics] を選択すると表示されます。これらのボタンを使用しても、現在と同じページが表示されたままになります。([First Page] と [Last Page] ボタンは機能します。)

暫定処置

ありません。

バグ 4847208 Web ブラウザが繁体字中国語 (zh_TW) ロケールで文字を正しく表示しない

繁体字中国語 (zh_TW) ロケールを使用する Web ブラウザで Sun StorEdge Diagnostic Expert ソフトウェアを使用しているときに、文字が疑問符 (??) で表示されます。

暫定処置

そのソフトウェアでは、繁体字中国語 (zh_TW) ロケールがサポートされていません。サポートされているロケールを使用するように、Web ブラウザを設定しなおしてください。

バグ 4847933 /etc/default/init ファイルのデフォルトのロケールが fr_FR.ISO8859-1 に設定されているときに、Telnet または ssh CLI セッション内でマニュアルページを表示できない

システムの /etc/default/init ファイルで fr_FR.ISO8859-1 がデフォルトのロケールとして設定されている場合、telnet または ssh CLI セッションで、英語の Sun StorEdge Configuration Service シェルマニュアルページを表示できないことがあります。

暫定処置

次のいずれかの暫定処置を実行できます。

■ オプション 1

1. テキストエディタを使用して、/etc/default/init ファイルのデフォルトのロケール設定を削除、またはコメントアウトします。
2. システムをシャットダウンしてから再起動します。

■ オプション 2

- 端末ウィンドウから次のコマンドを実行し、CLI セッション外からマニュアルページを表示します。

```
# /usr/bin/man -M /opt/SUNWdm/gre/usr/man/ manpage-name
```

- または、MANPATH に /opt/SUNWdm/gre/usr/man を含めます。このパスを MANPATH に含める手順については、[37 ページの「シェルの環境を更新して日本語のマニュアルページを表示するには」](#) を参照してください。

ローカライズ済みソフトウェアのインストール

Sun StorEdge Enterprise Storage Manager ソフトウェアは、次のロケールをサポートしています。

- 英語 (大文字の C)
- 簡体字中国語 (zh)
- フランス語 (fr)
- 日本語 (ja)

注 - ソフトウェアは、繁体字中国語をサポートしていません。マニュアルは英語、フランス語、日本語、韓国語、簡体字中国語、繁体字中国語で記述されたものを利用できます。

『Sun StorEdge Enterprise Storage Manager 1.2 インストールガイド』では、英語版ソフトウェアの準備、インストール、および構成手順について説明しています。ここでは、ローカライズ済みソフトウェアのインストール方法を説明します。

ローカライズ済みソフトウェアの一般的なインストール手順は次のとおりです。

1. 『Sun StorEdge Enterprise Storage Manager 1.2 Reporter インストールガイド』で説明されている準備とインストールに関する情報を読みます。
2. ロケールを設定し、必要なロケール / 言語にローカライズされたソフトウェアを管理ステーションおよび各エージェントステーションにインストールします。
3. 『Sun StorEdge Enterprise Storage Manager 1.2 インストールガイド』の説明に従って、ソフトウェアを構成します。

次のセクションを参照してください。

- [21 ページの「はじめに」](#)
- [21 ページの「インストール可能なロケール数」](#)
- [21 ページの「ソフトウェアの削除に関する情報」](#)
- [22 ページの「スーパーユーザー環境またはプロファイルのエイリアスの削除」](#)
- [23 ページの「インストールスクリプトのメインメニュー」](#)
- [28 ページの「ロケールパッケージのインストール後に、別のロケールまたは複数のロケールをインストール」](#)

はじめに

製品 CD-ROM に同梱されている『Sun StorEdge Enterprise Storage Manager 1.2 インストールガイド』のコピーが手元にあることを確認します。[6 ページの「既知の問題」](#)のセクションも参照してください。

インストール可能なロケール数

■ Sun StorEdge Topology Reporter

1 台のマシンまたは同じ SLP スコープに複数のロケールをインストールすることはできません。最初にインストールしたものと別のロケールを使用するには、すべてのパッケージをアンインストールしてから、使用したいロケールを選択してインストールしなおす必要があります。次を参照してください。

- [7 ページの「SLP スコープのエージェントステーションが同じロケールを使用していることの確認」](#)
- [29 ページの「別のローカライズソフトウェアパッケージ \(Topology Reporter ソフトウェア\) をインストールするには」](#)

■ Sun StorEdge Diagnostic Expert と Configuration Service

1 台のマシンに複数のロケールパッケージをインストールできます。関連するパッケージを削除する必要はありません。ロケールは、全ロケールをインストールすることも、選択したロケールのみをインストールすることも可能です。ロケールを削除する場合は、pkgrm(1M) を使用してそのロケールパッケージのみを削除します。次を参照してください。

- [30 ページの「別のまたは複数のローカライズソフトウェアパッケージ \(Diagnostic Expert ソフトウェア\) をインストールするには」](#)
- [31 ページの「別のまたは複数のローカライズソフトウェアパッケージ \(Configuration Service ソフトウェア\) をインストールするには」](#)

ソフトウェアの削除に関する情報

- 初期構成の後に、esmconfig スクリプトを使用してソフトウェアを構成する場合、ソフトウェアのデフォルトのロケールは最後にインストールしたものになります。
- ソフトウェアを削除する場合、各システムに残ってサポートされるデフォルトのロケール / 言語は英語です。

[32 ページの「esminstall と esmuninstall スクリプトのオプション」](#) も参照してください。

スーパーユーザー環境またはプロファイルのエイリアスの削除

スーパーユーザー環境またはプロファイルにエイリアスが存在する場合、ソフトウェアのインストールおよび構成の際に予期しない結果になることがあります。ソフトウェアをインストールまたは構成する前に、その環境に対して作成されているエイリアス (たとえば、`cp="cp -i"`) を削除します。

スーパーユーザーとしてログインし、端末ウィンドウで次のいずれかを入力します。

■ Korn シェルの場合

```
# unalias -a
```

■ C シェルの場合

```
> unalias *
```

インストールスクリプトのメインメニュー

1. 引数なしで `esminstall` インストールスクリプトを使用する場合、コード例 1 に示すメインインストールメニューが表示されます。

たとえば、1 台の管理ステーションと 3 台のエージェントステーションにソフトウェアをインストールするには、次のようにソフトウェアをインストールします。

1. 1) `Set the locale` を選択して、まず各ステーションにロケールを設定します。

注 - ロケールの設定を選択するには、小文字の `L` を入力します。ここでロケールを指定しない場合、インストールされるデフォルトのロケールは英語 (C ロケールとも言う) になります。

2. 管理ステーションの場合 : 管理ステーションにソフトウェアをインストールするには、メニューの選択肢から 2) `Server packages` を選択します。
3. エージェントステーションの場合 : 各エージェントステーションにソフトウェアをインストールするには、メニューの選択肢から 3) `Agent packages` を選択します。

表 4 は、メニューオプションについての説明です。

コード例 1 インストールスクリプトのメインメニュー

```
=====
Sun StorEdge(tm) ESM 1.2.0 MAIN INSTALL MENU
SSTR: Topology Reporter 1.2.0
SSCS: Configuration Service 1.2.0
SSDE: Diagnostic Expert 1.2.0
=====
1) Default: All packages
   (SSTR server, SSTR agent, SSCS, SSDE server, SSDE Agent)
2) Server packages (SSTR server, SSCS, SSDE server)
3) Agent packages (SSTR agent, SSDE agent)
4) SSTR agent
5) SSDE agent
1) Set the locale
q) Quit.
=====
Type a number to install the selected package(s)
[press Enter for default (All), Type q to Quit]:
```

表 4 インストールメニューの選択肢

ロケールを選択する場合	選択する メニューオプション	対象
この手順は、パッケージをインストールする前に実行する	1) Set the Locale 注：ロケールの設定を選択するには、小文字の L を入力します	<ul style="list-style-type: none">• サポートするローカライズ済みの国際化パッケージを指定する• ここでロケールを指定しない場合、インストールされるデフォルトのロケールは英語 (C ロケールとも言う) になる
インストールの対象	選択する メニューオプション	インストールするコンポーネント
管理ステーションおよびエージェントステーションとして機能する単一のマシンに、すべてのパッケージをインストールする	1) Default: All packages	<ul style="list-style-type: none">• Topology Reporter サーバー (管理ステーションおよびエージェントステーションのパッケージ)• Configuration Service• Diagnostic Expert サーバー (管理ステーションおよびデータホストエージェントステーションのパッケージ)
管理ステーションにサーバーソフトウェアパッケージをインストールする	2) Server packages	<ul style="list-style-type: none">• Topology Reporter 管理ステーション• Configuration Service• Diagnostic Expert 管理ステーション
SAN の各エージェントステーションにエージェントソフトウェアをインストールする	3) Agent packages	<ul style="list-style-type: none">• Topology Reporter エージェントステーション• Diagnostic Expert エージェントステーション (データホストエージェント)-
Topology Reporter エージェントソフトウェアパッケージ	4) SSTR agent	<ul style="list-style-type: none">• Topology Reporter エージェントステーションのみ
Diagnostic Expert エージェントステーションソフトウェア	5) SSDE agent	<ul style="list-style-type: none">• Diagnostic Expert データホストエージェントのみ-

▼ ローカライズ済みソフトウェアをインストールするには

注 - 28 ページの「ロケールパッケージのインストール後に、別のロケールまたは複数のロケールをインストール」を参照してください。

1. 使用するマシンにスーパーユーザーとしてログインします。
2. 22 ページの「スーパーユーザー環境またはプロファイルのエイリアスの削除」に記載されているように、このユーザーに定義されているエイリアスをすべて削除します。
3. CD-ROM ドライブに CD を挿入し、Volume Manager デーモン `vold(1)` を起動します (必要な場合)。

```
# /etc/init.d/volmgt start
```

注 - Volume Manager デーモンは、1 回だけ起動します。デーモンを再度起動しないでください。

4. 次のように、`esminstall` スクリプトを実行します。

```
# cd /cdrom/cdrom0
# ./esminstall
```

インストールメインメニューが表示されます。32 ページの「`esminstall` と `esmuninstall` スクリプトのオプション」も参照してください。

5. ロケールを選択します。

- メニューで `l` を入力します。

注 - ロケールの設定を選択するには、小文字の `l` を入力します。ここでロケールを指定しない場合、インストールされるデフォルトのロケールは英語 (C ロケールとも言う) になります。

- インストールロケールを選択します。

インストールスクリプトのメインメニューが表示されます。

6. ステーションのタイプに応じて、パッケージのインストール方法を選択します。

ステーションのタイプについての詳細は、『Sun StorEdge Enterprise Storage Manager 1.2 インストールガイド』を参照してください。

7. ソフトウェアを構成し、インストールを完了します。

ソフトウェアの構成の詳細については、『Sun StorEdge Enterprise Storage Manager 1.2 インストールガイド』を参照してください。

各タイプのステーション (管理とエージェント) にソフトウェアをインストールおよび構成すると、次のメッセージが表示されます。

Would you like to start All Sun StorEdge Topology Reporter
Components now?

8. n を入力します。Topology Reporter ソフトウェアを起動するには、[27 ページの「各ステーションで Topology Reporter と SLP ソフトウェアを起動するには」](#)を参照してください。

▼ 各ステーションで Topology Reporter と SLP ソフトウェアを起動するには

Topology Reporter ソフトウェアは、ステーションごとに必要なロケール (fr、ja、zh、または c) で起動する必要があります。これにより、Web ブラウザのユーザーインターフェースを必要な言語 (フランス語、日本語、簡体字中国語、または英語) で表示できます。

1. 各ステーションで Topology Reporter と SLP (Service Locator Protocol) ソフトウェアがすでに起動されている場合は、次のように停止します。

```
# /etc/init.d/sstrd stop
# /etc/init.d/slpd stop
```

2. インストールしたのと同じロケールを使用して、次のように Topology Reporter ソフトウェアを再度起動します。

```
# /usr/bin/env LC_ALL=locale /etc/init.d/sstrd start
```

ここで *locale* は、fr、ja、zh、または c (大文字の c は英語ロケールを指定) です。ソフトウェアは、各ソフトウェアプロセスが開始されていることを示すメッセージを表示します。

注 - 25 ページの「ローカライズ済みソフトウェアをインストールするには」で説明したようにロケールを指定しなかった場合、インストールされているデフォルトのロケールは英語 (大文字の C) です。

ロケールパッケージのインストール後に、別のロケールまたは複数のロケールをインストール

ロケールパッケージのインストール後に、別のロケールパッケージ、または複数のロケールパッケージをインストールする方法について次に説明します。

- 29 ページの「別のローカライズソフトウェアパッケージ (Topology Reporter ソフトウェア) をインストールするには」
- 30 ページの「別のまたは複数のローカライズソフトウェアパッケージ (Diagnostic Expert ソフトウェア) をインストールするには」
- 31 ページの「別のまたは複数のローカライズソフトウェアパッケージ (Configuration Service ソフトウェア) をインストールするには」

▼ 別のローカライズソフトウェアパッケージ (Topology Reporter ソフトウェア) をインストールするには

Topology Reporter ソフトウェアの場合、ローカライズ済みソフトウェアパッケージをインストールした後に別のロケールソフトウェアパッケージをインストールするには次の手順を実行します。Topology Reporter ソフトウェアでは次の点に注意してください。

- 各システムにインストールできるロケールは 1 つのみである
- 1 つのシステムに複数のロケールをインストールすることはできない

7 ページの「SLP スコープのエージェントステーションが同じロケールを使用していることの確認」 および 21 ページの「インストール可能なロケール数」も参照してください。

1. 次のように、各マシンの Topology Reporter と SLP (Service Locator Protocol) ソフトウェアを停止します。

```
# /etc/init.d/sstrd stop
# /etc/init.d/slpd stop
```

2. esmuninstall スクリプトを使用して、現在インストールされているローカライズ済み Topology Reporter ソフトウェアを削除します。

32 ページの「esminstall と esmuninstall スクリプトのオプション」を参照してください。

3. 別のロケールオプションを持つ esminstall スクリプトで、Topology Reporter ソフトウェアをインストールします。

25 ページの「ローカライズ済みソフトウェアをインストールするには」を参照してください。

4. ソフトウェアを構成し、インストールを完了します。

ソフトウェアの構成の詳細については、『Sun StorEdge Enterprise Storage Manager 1.2 インストールガイド』を参照してください。

5. 各ステーションで、Topology Reporter と SLP を起動します。

27 ページの「各ステーションで Topology Reporter と SLP ソフトウェアを起動するには」を参照してください。

▼ 別のまたは複数のローカライズソフトウェアパッケージ (Diagnostic Expert ソフトウェア) をインストールするには

1. 次のように、各マシンの Sun StorEdge Diagnostic Expert ソフトウェアを停止します。

```
# /etc/init.d/init.ssde stop
```

2. (オプション) `pkgrm(1M)` コマンドを使用して、現在インストールされているローカライズパッケージを削除します。

3. `pkgadd(1M)` コマンドでローカライズパッケージをインストールします。

- 製品 CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
- `SSDE_1.2` ディレクトリに移動します。
- 次のようにローカライズパッケージを追加します。

```
# pkgadd -d . package-name
```

ここで、*package-name* は次のいずれかになります。

SUNWcsade	簡体字中国語ロケールパッケージ
SUNWfsade	フランス語ロケールパッケージ
SUNWjsade	日本語ロケールパッケージ

4. 手順 3 を繰り返して、別のローカライズパッケージを追加します。

5. ソフトウェアを構成し、インストールを完了します。

ソフトウェアの構成の詳細については、『Sun StorEdge Enterprise Storage Manager 1.2 インストールガイド』を参照してください。

6. Sun StorEdge Diagnostic Expert ソフトウェアを起動します。

```
# /usr/bin/env LC_ALL=C LANG=C /etc/init.d/init.ssde start
```

▼ 別のまたは複数のローカライズソフトウェアパッケージ (Configuration Service ソフトウェア)をインストールするには

1. 次のように、各マシンの Sun StorEdge Configuration Service ソフトウェアを停止します。

```
# /etc/init.d/sscs stop
```

2. (オプション) `pkgrm(1M)` コマンドを使用して、現在インストールされているローカライズパッケージを削除します。
3. `pkgadd(1M)` コマンドでローカライズパッケージをインストールします。
 - 製品 CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
 - `SSCS_1.2/L10N/Packages/locale/` ディレクトリに移動します。ここで、`locale` は、`fr` (フランス語)、`ja` (日本語)、または `zh` (簡体字中国語)です。
 - 次のようにローカライズパッケージを追加します。

```
# pkgadd -d . package-name
```

ここで、`package-name` は次のいずれかになります。

SUNWcdm	簡体字中国語ロケールパッケージ
SUNWfdm	フランス語ロケールパッケージ
SUNWjdm	日本語ロケールパッケージ

4. 手順 3 を繰り返して、別のローカライズパッケージを追加します。
5. ソフトウェアを構成し、インストールを完了します。

ソフトウェアの構成の詳細については、『Sun StorEdge Enterprise Storage Manager 1.2 インストールガイド』を参照してください。
6. Sun StorEdge Configuration Service ソフトウェアを起動します。

```
# /etc/init.d/sscs start
```

esminstall と esmuninstall スクリプトのオプション

注 - -L、--locale オプションと共に -A、--all、

-s、--server、または -a、--agent インストールオプションを使用して、ロケールを指定する必要があります。

esminstall および esmuninstall スクリプトには、ソフトウェアのインストールまたは削除を非対話的に実行する場合に役立つオプションが含まれています。-s (silent) オプションを指定してスクリプトを実行すると、プロンプトやメッセージに回答する必要がなくなります。これにより、ソフトウェアがサイレントモードでインストールまたは削除されます。

- 製品 CD に格納されている esminstall スクリプトファイルには、表 5 に示すオプションがあります。
- 製品 CD および /opt/SUNWstm/bin/ ディレクトリに格納されている esmuninstall スクリプトファイルには、表 6 に示すオプションがあります。

スクリプトには、各オプションの略名または正式名を使用できます。略名のオプションには、1 つのハイフン (-) を付けます。正式名のオプションには、2 つのハイフン (--) を付けます。

たとえば、すべてのパッケージを単一のマシンにインストールするには、次のいずれかを入力します。

```
# esminstall --locale fr --all
または
# esminstall -A -L fr
```

このマニュアルでは、オプションの略名の後に、コンマで区切ってオプションの正式名を示しています。esminstall および esmuninstall の構文は次のとおりです。

注 - オプションの正式名を使用する場合、ハイフンの間にスペースは入れません。

```
esminstall [-A,--all | -s,--server | -a,--agent) | -t,--tragent |
[-d,--deagent] [-S,--silent] [-l,--list] [-L,--locale]
[? | -h,--help]
```

表 5 esminstall のオプション

オプション	説明
-A,--all	管理ステーションおよびエージェントステーションとして機能する単一のマシンに、すべてのパッケージをインストールします。
-s,--server	単一のマシンに管理ステーションパッケージをインストールします。
-a,--agent	単一のマシンにエージェントステーションパッケージをインストールします。
-t,--tragent	Topology Reporter エージェントステーションパッケージをインストールします。
-d,--deagent	Diagnostic Expert データホストエージェントパッケージをインストールします。
-S,--silent	選択したパッケージをサイレントモードでインストールします。ソフトウェアでは、メッセージやプロンプトを表示せずにインストールを実行します。このオプションを指定しない場合、 23 ページの「インストールスクリプトのメインメニュー」 に示すように、スクリプトによってプロンプトやメッセージが表示されます。
-l,--list	使用可能なロケールをリストします。
-L,--locale <i>locale</i>	指定したロケールでソフトウェアをインストールします。ここで、 <i>locale</i> は次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • en - 英語 • fr - フランス語 • ja - 日本語 • zh - 簡体字中国語 <p>-L, --locale オプションは、-A, --all、-s, --server、または -a, --agent インストールオプションと共に使用する必要があります。</p>
?	スクリプトオプションの情報を表示します。
-h,--help	

esmuninstall [-f,--full] [-S,--silent] [? | -h,--help]

表 6 esmuninstall のオプション

オプション	説明
-S,--silent	選択したパッケージをサイレントモードでアンインストールします。ソフトウェアでは、メッセージやプロンプトを表示せずにアンインストールを実行します。
-f,--full	永続ファイルも含めて、ソフトウェアを完全にアンインストールします。
?	スクリプトオプションの情報を表示します。
-h,--help	

ローカライズ済みソフトウェアの問題

次のセクションでは、ソフトウェアのローカライズバージョンに関する問題について説明します。

- [29 ページの「別のローカライズソフトウェアパッケージ \(Topology Reporter ソフトウェア\) をインストールするには」](#)
- [35 ページの「電子メールおよびページャ通知サービス」](#)
- [36 ページの「SNMP 通知」](#)
- [36 ページの「Netscape Navigator の簡体字中国語バージョンの言語選択」](#)
- [37 ページの「マニュアルページ」](#)

電子メールおよびページャ通知サービス

Topology Reporter ソフトウェアの場合、通知電子メール送信時のロケールオプションとして英語を選択します。ページャ通知を送信する際のロケールオプションも英語を選択します。

これらのオプションは、Topology Reporter ソフトウェアの Web ブラウザインタフェース、またはコマンド行インタフェースから選択できます。このリリースでは、この機能のローカライズをサポートしていません。

Sun StorEdge Configuration Service ソフトウェアの場合、使用する電子メールやページャシステムが次に示す暗号化や文字セットをサポートしているかどうか分からなければ、電子メールやページャ通知を送信する際のオプションは英語を選択します。

ソフトウェアで使われる、MIME の一部として定義されている暗号化と文字セットは次のとおりです。

フランス語	Content-Type: charset=iso-8859-1 Content-Transfer-Encoding: 8bit X-MIME-Autoconverted: from quoted-printable to 8bit
日本語	Content-Type: text/plain; charset=iso-2022-jp Content-Transfer-Encoding: 7bit
簡体字中国語	Content-Type: text/plain; charset=gb2312 Content-Transfer-Encoding: 8bit X-MIME-Autoconverted: from base64 to 8bit

SNMP 通知

Sun StorEdge Configuration Service と Topology Reporter ソフトウェアでは、SNMP (Simple Network Management Protocol) の設定時のロケールオプションに英語を選択します。このオプションは、Topology Reporter ソフトウェアの Web ブラウザインタフェース、またはコマンド行インタフェースから選択できます。

このリリースでは、この機能のローカライズをサポートしていません。

Netscape Navigator の簡体字中国語バージョンの言語選択

ソフトウェアでは、Netscape Navigator による Web ブラウザのユーザーインタフェースで簡体字中国語文字を表示するには、優先言語の順番の最初で zh-CN を選択します。(これは、[Preferences] メニューで選択できます。Netscape Navigator のツールバーで、[Edit] → [Preferences] を選択します。)

簡体字中国語として zh または zh-CN を選択しないでください。正しく表示されません。

使用する Netscape Navigator のバージョンが簡体字中国語 (zh-CN) をサポートしていない場合、サポートしているローカライズ済みバージョンをインストールしてください。

マニュアルページ

マニュアルページは、英語と日本語でのみ表示できます。

Sun StorEdge Configuration Service 関連のマニュアルページは、Sun StorEdge シェルのマニュアルページコマンドを使用する場合は英語でのみ表示できます。このシェルの詳細については、『Sun StorEdge Configuration Service 1.2 管理者ガイド』を参照してください。Sun StorEdge シェル外でマニュアルページコマンドを使用してマニュアルページを日本語で表示するには、MANPATH 変数を次のいずれかの手順で更新する必要があります。

▼ シェルの環境を更新して日本語のマニュアルページを表示するには

■ Bourne または Korn シェルでの MANPATH 変数の更新

1. テキストエディタを使用し、`/opt/SUNWdm/gre/usr/man/` を含むように `.profile` ファイルの MANPATH ステートメントを更新し、MANPATH がエクスポートされることを確認します。

```
MANPATH="$MANPATH:/opt/SUNWdm/gre/usr/man/"
export MANPATH
```

2. このファイルを保存し、エディタを終了します。
3. シェルセッションのために、`.profile` ファイルを再ロードします。

```
# . ~/.profile
```

■ C シェルでの MANPATH 変数の更新

1. テキストエディタを使用して、`.login` ファイルの MANPATH ステートメントに `/opt/SUNWdm/gre/usr/man/` を追加します。

```
# setenv MANPATH "$MANPATH:/opt/SUNWdm/gre/usr/man/"
```

2. このファイルを保存し、エディタを終了します。

3. シェルセッションのために、.login ファイルを再ロードします。

```
# source .login
```

関連マニュアル

アプリケーション	タイトル	パーツ番号
マニュアルページ	sstr ssde sscs	非適用
バージョンと 製品情報	『Sun StorEdge Enterprise Storage Manager 1.2 Roadmap』	817-1039
	『Sun StorEdge Configuration Service 1.2 ご使用にあたって』	817-2190-10
	『Sun StorEdge Diagnostic Expert 1.2 ご使用にあたって』	817-2137-10
	『Sun StorEdge Enterprise Storage Manager 1.2 Topology Reporter ご使用にあたって』	817-1922-10
	『Storage Automated Diagnostic Environment 2.2 System Edition ご使用にあたって』	817-2313-10
	『Storage Automated Diagnostic Environment 2.2 Device Edition ご使用にあたって』	817-2303-10
	『Sun StorEdge SAN Foundation Release Notes』	817-0071
	『Sun StorEdge Traffic Manager Software Release Notes』	817-0385
インストール	『Sun StorEdge SAN Foundation Kit Installation Guide』	817-1244
	『Sun StorEdge Enterprise Storage Manager 1.2 インストールガイド』	817-2127-10
	『Sun StorEdge SAN Foundation Kit Configuration Guide』	817-1245

アプリケーション	タイトル	パーツ番号
	『Sun StorEdge Traffic Manager Software Installation and Configuration Guide』	816-1420
システム管理	『Sun StorEdge Enterprise Storage Manager 1.2 Topology Reporter 管理運用ガイド』	817-1917-10
	『Sun StorEdge Configuration Service 1.2 管理者ガイド』	817-2185-10
	『Service Location Protocol Administration Guide』	806-1412
ユーザーと診断	『Sun StorEdge Diagnostic Expert 1.2 ユーザーズガイド』	817-2132-10

サービスのお問い合わせ情報

この製品のインストールや使用に関するアドバイスが必要な場合は、1-800-USA-4SUN までお電話いただくか、次の Web サイトをご覧ください。

<http://www.sun.com/service/contacting/index.html>

